



体の仕組みについて説明を受ける地域の方々

市町村合併に際しての 民児協の取り組みについて

連携活動を重視

現在、市町村合併にともない当該市町村民児協も合併の取り組みが活発化してきております。

去る七月二十三日には、佐敷町・知念村・玉城村・与那原町の社協と民児協の意見交換会がおこなわれ、民児協の財政や組織の状況、合併を取り組むにあたっての視点などが話し合われました。また、八月六日には南風原町・東風平町・大里村・具志頭村で

わたしのまちの民児協 小禄第二民児協

(寄稿)

那覇市在宅介護支援センター小禄

相談員 宮里美生

小禄 鏡原地区での取り組みと 民生委員の関わり

鏡原地区は他地区からの転入者で構成されているため住民同士のつながりが少なく、地域に自治会がないことが問題となっており、そのため、地域でお年寄りがふれあう場所がなく不便さを感じておりました。

そこで、地域高齢者が集う場所を確保したく、この地域で介護予防教室を開催したいと小禄第二民児協の上間会長に相談したところ、場所の確保を鏡原中学校に依頼し、地域の民生



開会のあいさつ「これから転倒予防教室を始めます…」

真向法体操教室開催

教室内容は誰でも簡単にできる真向法(まっこうほう)体操です。開催に向けて、会場近くの民生委員数名と在宅介護支援センター小禄とで打ち合わせを行い、近隣に住む閉じこもりがちな高齢者や、体操に興味のある方々に呼びかけを行うことになりました。

また、会長のご厚意で小禄第二民児協全体として取組んで頂くことになり、チラシ配布及び訪問による声かけを進めた結果、当日は開催



真向法インストラクター 大濱恵美子先生

委員として教室開催に向けてご協力いただきました。
学校側の了解を得た結果、毎月一回介護予防教室を継続して開催する事で、地域住民の健康維持・介護予防が図れることや、ふれあいの場として発展することを目指して進めて行くことになりました。

結びに

民生委員・児童委員の活動は、地域福祉の推進員として児童から高齢者まで幅広く活躍しております。在宅介護支援センターとしても日頃から情報をスムーズに入るような体制を構築して互いに連携していきたいと感じております。今後の取り組みとして、この活動を通してさらなる地域活性化を図り、いずればふれあいデイサービス等の立ち上げに発展することを期待しております。



健康チェック～血圧を測定している方は民生委員

や体制強化を図ることが「地域住民の一番身近な支援者」として果たすべき役割ではないでしょうか。

そのためには、新しい地域での民生委員児童委員、民児協の役割等を視野に入れた市町村行政・社協、関係機関団体との連携強化や、民生委員児童委員の資質の向上並びに主任児童委員との連携・協働が必要であります。

今後とも、地域住民の福祉の向上並びに地域福祉の推進役として特段のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

編集後記

今回の「ふくらしや」の記事は、関係機関から見た民児協の原稿をお願いしました。

在宅介護支援センター小禄の宮里さんにはお忙しい中原稿をいただきまして、心より御礼申し上げます。これから連携して地域福祉の向上をめざし頑張っていきたいと思います。

皆様方の活動事例を紹介したいと思っております。投稿をお待ちしています。

(事務局上原)

